

# G7 広島サミット 2023

## [プログラム]

- 5/19(金) G7首脳広島平和記念資料館訪問・原爆死没者慰霊碑献花  
 セッション1 ワーキングランチ「分断と対立ではなく協調の国際社会へ／世界経済」  
 セッション2 「ウクライナ」  
 G7首脳広島神社訪問  
 セッション3 ワーキングディナー「外交・安全保障」
- 5/20(土) セッション4 「パートナーとの関与の強化(グローバル・サウス、G20)」  
 セッション5 ワーキングランチ「経済的強靱性・経済安全保障」  
 セッション6 「複合的危機への連携した対応」(招待国・国際機関参加)  
 グローバル・インフラ投資パートナーシップに関するサイドイベント  
 セッション7 「持続可能な世界に向けた共通の努力」(招待国・国際機関参加)  
 社交行事(夕食会)
- 5/21(日) 招待国・国際機関トップの平和記念資料館訪問・原爆死没者慰霊碑献花  
 セッション8 「ウクライナ」(ゼレンスキー大統領参加)  
 セッション9 「平和で安定し、繁栄した世界に向けて」(ゼレンスキー大統領・招待国・国際機関参加)  
 閉会セッション  
 岸田総理による議長記者会見  
 ゼレンスキー大統領の平和記念資料館訪問・原爆死没者慰霊碑献花



| [概要]  |   |
|-------|---|
| 日程    | 2023年5月19日(金)～21日(日)  |
| 参加者   | G7各国・地域首脳、招待国首脳[豪州、ブラジル、コモロ(アフリカ連合議長国)、クック諸島(太平洋諸島フォーラム議長国)、インド(G20議長国)、インドネシア(ASEAN議長国)、韓国、ベトナム]、招待国際機関(国連、国際エネルギー機関(IEA)、国際通貨基金(IMF)、経済協力開発機構(OECD)、世界銀行、世界保健機関(WHO)、世界貿易機関(WTO))、ウクライナ・ゼレンスキー大統領 |
| 主要テーマ | 2つの視点<br>— 法の支配に基づく国際秩序の堅持<br>— グローバル・サウスへの関与の強化  |
| 重要課題  | 地域情勢(ウクライナ、インド太平洋)、核軍縮・不拡散、経済的強靱性・経済安全保障、気候・エネルギー、食料、保健、開発、ジェンダー、デジタル   |

2023年5月19～21日に行われたG7広島サミットは、ウクライナのゼレンスキー大統領が対面に参加する中、力による一方的な現状変更を否定し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守り抜くべく、G7首脳の結束を改めて確認する場となった。また、招待国を含めウクライナ情勢への理解が増進された。

さらに、世界が分断傾向を強める中、その影響を最も受けるグローバル・サウスとの連携強化についてG7首脳が一致したのに加え、被爆地広島において、核兵器のない世界という理想に向けて

現実的かつ実践的な取り組みを進めるためのビジョンが発信されるなど、大きな成果を挙げた。

貿易投資、グリーン、デジタルなどの各論については、B7東京サミット共同提言の趣旨が首脳コミュニケーションに反映された。ポイントは以下の通り。

(1) ルールに基づく多角的貿易体制の強化の観点から、「強靱で信頼性のあるサプライチェーンに関する原則」を採択し、開発途上国を含むすべての国に対して広めることに合意した。また、自由、公正で互恵的な経済・貿易関係強化に資する連携を表明した(この点は、B7東京サミット共同提言における「自由で公正な貿易投資のためのクラブ」と基本的考え方において通底している)。

(2) 開発途上国等との連携のもと、エネルギー安全保障と持続的な経済成長を確保しつつ、再生可能エネルギー、原子力、水素・アンモニア技術等を活用するなど、グリーン・トランスフォーメーションに向けた多様な道筋の追求に合意した。

(3) G20大阪サミット(2019年)以来、日本が主導してきた「信頼性のある自由なデータ流通」(DFFT)の具体化に向け、国際枠組み(Institutional Arrangement for Partnership)を設立する(ことが明記された)。

参考：G7広島首脳Twitter  
<https://www.noia.go.jp/notaj/files/100507034.pdf>

外務省G7広島サミットウェブサイト  
[https://www.mofa.go.jp/notaj/ms/g7hs\\_s/page1\\_001673.html](https://www.mofa.go.jp/notaj/ms/g7hs_s/page1_001673.html)

